

## 福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

### ゆめいろ保育園

横浜市鶴見区矢向 3-11-48

運営主体：社会福祉法人 夢工房

実施概要	1 ページ
総合評価（評価結果についての講評）	2～3 ページ
評価領域ごとの特記事項	4～5 ページ
分類別評価結果	6～15 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	16～22 ページ
本人調査分析	23～24 ページ
事業者コメント	25 ページ

2011年6月20日公表

実施機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま



## 実施概要

事業所名	ゆめいろ保育園（保育所）		
事業所への 報告書提出日	2011年5月13日	評価に要した期間	11ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま		

## 評価方法

1、自己評価 実施期間 2010年6月12日～12月27日	それぞれのグループの担当者を決め、保育関係、経営関係、地域支援関係のグループに全職員を振り分けた。 定期的にグループごとの会議を行い、評価項目の確認を行った。 3つのグループごとにまとめたものを、全体で確認しあい、1つの評価票にした。
2、利用者家族アンケート調査 実施期間 2011年1月11日～1月24日	全園児の保護者（103世帯）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配付した。 各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。
3、訪問実地調査 実施日：第1日 2011年2月22日 第2日 2011年2月24日	[第1日] 午前：各クラスで保育観察。 昼食：各クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後：書類調査。 専務理事・園長・副園長・主任・副主任に面接調査。  [第2日] 午前：朝は登園の様子を観察。その後、各クラスで保育観察。 昼食：各クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後：各クラス担任保育士6名（副主任1名含む）、看護師1名、栄養士1名、副主任、主任に個別に面接調査。 その後、園長・副園長・主任・副主任に面接調査。 最後に意見交換を行い、終了。
4、利用者本人調査 実施日：第1日 2011年2月22日 第2日 2011年2月24日	観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施し、戸外・園外での活動も観察した。 幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。

## 総合評価（評価結果についての講評）

### 【ゆめいる保育園】

#### 【施設の概要】

「ゆめいる育園」は、JR南武線「矢向」駅から徒歩10分ほどの住宅地の中に位置します。付近には、園と交流のある矢向小学校・新鶴見小学校や園の運動会開催場所である矢向地区センターがあります。

当保育園は、2009年（平成21年）4月1日に120人定員で開園した新しい保育園です。月曜日から土曜日の午前7時から午後8時（土曜日は午後6時）まで開園しています。

2階建ての園舎内は、年齢ごとの6つの保育室すべてで窓が大きく、陽光が十分に取り入れられます。その他、2歳児から5歳児までが食事をする広いランチルームやステージがあるホール、厨房、事務室、相談室や倉庫などがあります。園舎中央には吹き抜けの「壺庭」があり、間接照明で創造的な空間を演出しています。また、芝生の園庭が幼児用と乳児用の2種類あります。

運営法人は、「社会福祉法人 夢工房」です。法人では、保育園や特別養護老人ホームを、兵庫県を中心に大阪府や北海道、神奈川県横浜市で運営しています。とくに兵庫県姫路市では、戦後間もないころより、60年以上の保育の歴史があります。また、平成22年度現在保育園は17園（うち横浜市内で3園）運営していますが、今後も新園を設立の予定です。

保育理念は「見るもの、聞くものに好奇心を誘発され、人に認められ、喜ばれることにより、自分自身が生きている意味を子どもなりに感じる保育」・「命や生きる力の大切さを感じる保育」・「人から守られるだけでなく、自立していく過程で困難なことや、悲しいことに立ち向かう勇気と気力が育つ保育」・「子どもたちの成長過程で、自立意欲を助長し、それを実践できる機会を大切に考えられる保育」の4つを掲げています。

#### 高く評価できる点

##### 1、子どもたちはやりたい気持ちを素直に表現し、自然体で園内の生活を過ごしています

各保育室では、年齢に合った空間やおもちゃなどが用意され、子どもたちがやりたいことができるような工夫がされています。具体的には、保育室内は子どもの背丈に応じた棚が設置され、その中におもちゃや絵本が分かりやすく収納されていて、子どもたちはいつでも自由に取り出して遊んでいます。また遊んだ後も、他の子どもたちがすぐに遊べるように、自分で片付けをしています。保育士は、子どもたちのやりたいことを第一に考え、その気持ちを大切にしながら、子ども一人ひとりの「個性」や「人間性」を大切にしています。このような保育士の姿勢を受けて、子どもたちは自分のやりたいことを素直に伝え、自然体で園内生活を過ごしています。

園では、外部の専門講師による英語教室・体操教室・音楽教室を取り入れています。また、栄養士が中心となり食育プログラムを実施しています。具体的には、食材を毎日、全クラスで子どもたちが手に取りながら分かりやすく理解できるように説明したり、月1回の食育デーでは鮭一匹をさばいて見せた後に石狩鍋にしてみんなで食べたり、その他エプロンシアターや人気献立メニューの紹介なども行っています。このような多種多様なプログラムを通して、子どもたちはいろいろな物事に自然と関心をよせ、豊かな人間性を身につけていきます。

子どもたちは、このような恵まれた体験を通じて、子どもたち同士で気持ちを尊重し合い、時には一人で、時には小グループで楽しみながら、自分のやりたいことを思う存分やり、日々を自然体で過ごしています。

## 2、良好な職場環境と丁寧な人材育成により、職員のやる気と満足度が高く保たれています

保育理念・方針に共感し、また理解をした人材を採用し、全職員が理念・方針の実現を心がけています。園では、年度初めに、全職員が「法人の職員として目標」・「保育士としての目標」・「その目標を設定した理由」などを設定し、園長や法人専務理事による丁寧な個人面談を通じて、職員一人ひとりの実現したい保育を聞き入れながら、園全体の保育内容を検討しています。

また、より良い保育現場を実現するために、法人内コンテストも活発に行われています。例えば、「フォトコンテスト」・「おもちゃコンテスト」・「手作り絵本コンテスト」・「行事食コンテスト」・「ムービーメーカー（画像編集）コンテスト」などが開催され、職員全員が楽しみながら、より良い保育環境と職場環境の実現を目指しています。その他、職員間の交流を目的とした新人歓迎会・スポーツ交流会・各種レクレーションや親睦会なども定期的で開催しています。このようなさまざまな方法で、「優秀なスタッフが生き生きと働ける職場でなければ、よりよい保育は目指せない」という法人の考えを実践しています。

さらに、研修制度が充実しています。個人別の研修計画を年度初めに設定し、経験年数や職種によって受講する研修の概要・受講する目的・期待する知識や能力の習得などの詳細も設定します。園外で受講した研修内容は、その受講者が講師となって園内研修を開催し、全職員に対して学びの場を提供することによって、職員全体のレベルアップを目指しています。

このような職場環境のもと、全職員の満足度とやる気が高い組織となり、保育内容についての活発な意見交換を会議で行いながら、園全体の保育理念や職員それぞれの目標を実現しています。

## 3、法人としてマニュアルの整備が進み、各種会議が充実しています

長年に渡って保育園(平成 22 年度現在で 17 園)を運営してきた経験から、今までに蓄積したノウハウ・スキルをもとに、充実した規程類やマニュアルを整備しています。

一例をあげると、保育安全マニュアル・遊具安全管理・避難訓練・消防計画・不審者対応などの安全管理系、感染症対応・与薬の仕方・園内消毒・特別食対応・プールに入る手順などの衛生管理、保育課程や指導計画の作成手順・乳児保育・午睡マニュアル・異年齢児保育・延長保育・虐待対応などの保育関連、その他にも就業規則・人事評価規程や実習生・ボランティア、環境の取り組みや職員互助関連まで、細部にわたりマニュアルを完備し、活用しています。

また、法人主催で、系列園の園長・副園長・主任・副主任・栄養士・看護師と各職種で集まる会議を毎月開催(副主任会議は隔月開催)し、情報提供のみならず、現場保育の実践に役立つような検討・見直しの機会を設け、全系列園の情報共有と共通認識を大切にしています。

## 評価領域ごとの特記事項

このページは、かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って記載しています。

### 【ゆめいろ保育園】

#### 1、人権の尊重

- ・ 保育理念は「見るもの、聞くものに好奇心を誘発され、人に認められ、誉められ、喜ばれることにより、自分自身が生きている意味を子どもなりに感じる保育」・「命や生きる力の大切さを感じる保育」・「人から守られるだけでなく、自立していく過程で困難なことや、悲しいことに立ち向かう勇気と気力が育つ保育」・「子どもたちの成長過程で、自立意欲を助長し、それを実践できる機会を大切に考えられる保育」の4項目を掲げています。すべての項目が利用者本人を尊重したものとなっています。また、職員間で保育内容を話し合い、週1回開催している職員会議(ケース会議含む)で検討し、指導案に理念・目標を組み込むように努めています。
- ・ 個人情報の取り扱いについては、実習生を含めた全職員に対して、規定に基づいて説明をした上で、利用者情報保護誓約書を交わしています。
- ・ 虐待の発見や防止に関するマニュアルを、各保育室内にも常備し、全職員に虐待の定義を周知しています。

#### 2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ・ 保育室内は、空気がこもらないように24時間換気を行い、各クラスには加湿空気清浄機を設置しています。また、施設内は天窓・吹き抜けがあり、十分な陽光が確保できる構造となっています。
- ・ 乳児・幼児クラスとも、子どもの背丈に合った棚におもちゃや絵本を分かりやすく収納し、子どもが自由に取り出して遊び、自分で片付けがしやすい環境を作っています。また、保育士は穏やかな声と態度で子どもに接し、子どもたちは保育士にしっかり甘えて落ち着きのある表情が見られます。
- ・ 園の運動会は、矢向地区センターの体育館を利用して行っています。また、園児が、野菜作りの種苗を近所の店に買いに行ったり、園児の散歩時に地域の人へのあいさつを行うなどの交流を日常的にしています。

#### 3、サービスマネジメントシステムの確立

- ・ 保育課程は、年度末に全職員で話し合い、年間を通して一貫性のあるものを作成し、年2回見直しをしています。また、保護者の就労状況などは児童票に記録し、保育課程を作成する際に保護者の実情を考慮しています。
- ・ 法人全体として、特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れる姿勢がうかがえます。また、法人から適宜必要なノウハウや情報などが園に提供されます。園内ではその情報をもとに職員会議等で意見交換をし、保育経過や情報については、ノートに記録し、職員がいつでも確認できるようにしています。
- ・ 園では、保護者からの要望や意見に対して、迅速・適切・誠心誠意な対応を心がけ、担当保育士から副主任や主任保育士・副園長・園長への報告を徹底しています。具体的事案については、職員会議で「原因」「対応内容」「改善内容」と段階を踏まえて話し合い、検討・共有しています。また、すべての事案について迅速に対応することを心がけ、必要であれば玄関に掲示して、保護者に伝えています。なお、過去に起きた事例は、ホームページに情報を公開し、対応方法など誰もが閲覧できるようにしています。
- ・ 運営法人が各園共通で設定した健康管理マニュアルがあり、それをさらに具体的かつきめ細かくしたものを園独自に作成しています。このマニュアルに沿って、日々、子どもの健康状態を把握しています。

#### 4、地域との交流・連携

- ・ 園庭開放時に育児相談を受け付け、この交流を通して地域の育児支援ニーズを把握しています。また、地域の民生委員・主任児童委員・自治会長・他保育園などのメンバーで構成される「とちのき子育て支援会議」に毎年参加しています。
- ・ 幼児クラスの散歩時に公園のゴミ掃除をしたり、ハロウィンで子どもたちが近所を行進したりするなどの日常的な取り組みで地域との友好的関係を築いています。
- ・ 毎月、園のホームページを更新し、園内の様子や子育て支援情報を載せています。また矢向地区センターや鶴見区役所にも掲示やパンフレットを置くなどの情報提供をしています。

#### 5、運営上の透明性の確保と継続性

- ・ 法人主催の新人研修・職員会議、就業規則等の各種規程やマニュアルにおいて、職員が守るべき法・規範・倫理等を説明しています。
- ・ 法人主催による幹部職員・中堅職員研修を定期的に行っています。主任や副主任への昇格試験も定期的に行い、スーパーバイズのできる主任クラスの計画的な育成プログラムがあります。なお、主任は、全体の業務状況を主に把握し、副主任は個々の職員の業務状況を把握しています。
- ・ 法人として、短中期的な事業計画を策定しています。外部環境の変化をかんがみて、現状の保育サービスを見直すため、法人主催の園長・副園長・主任・副主任・看護師・栄養士会議を定期的に行っています。そこでは、系列園の状況を横断的に把握することができ、サービス内容の充実や組織活性化のための話し合い・検討を行っています。

#### 6、職員の資質向上の促進

- ・ 職員採用時に、保育理念・方針に共感・理解してもらえるかを確認しています。保育理念や方針の実現のために、法人独自の人事評価制度を活用しながら、計画的な人材育成が行われています。人事評価制度では、保育士としての目標・法人職員としての目標・目標の設定理由など、職員一人ひとりと園長が面談(副主任以上は専務理事が面談)を行い、丁寧な人材育成計画を策定しています。
- ・ 副園長が研修担当であり、各職員の資質向上に向けた年間研修予定表を作成し、各職員の研修ニーズにも配慮しています。園内外での研修については、全職員が積極的かつ主体的に研修に参画できるよう、一人ひとりの能力・知識向上のキャリアプランを把握し、必要な知識の研修を推進できる仕組みがあります。
- ・ 週1回の職員会議やクラスミーティング等で、保育内容や保育技術についての確認や反省を行っています。月1回開催の園長会議では、系列園の良い事例を共有し、一層のサービス向上のために、各園の取り組みを参考として自園の保育に取り入れています。
- ・ 園長・副園長・主任・副主任・保育士・看護師・栄養士それぞれの役割を明文化しています。また、園長面談の際に、本年度の目標・前年度の反省(課題)点などを十分に話し合いながら、職員一人ひとりの経験・能力・習熟度に応じた役割や期待水準を明文化しています。
- ・ 実習生受け入れのためのマニュアルがあり、これにそって実習生に対して事前に園の方針を説明しています。また、実習終了後、学生と職員で反省会を開き意見交換を行っています。さらに反省会の内容は職員会議で取り上げ、今後の保育に反映させています。

## 分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。



「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

### 評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p>  <p>(1)保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。</p> <p>(2)保育課程は、保育の基本方針に基づき、保護者の実状などを考慮して作成されているか。</p> <p>(3)日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育理念は「見るもの、聞くものに好奇心を誘発され、人に認められ、誉められ、喜ばれることにより、自分自身が生きている意味を子どもなりに感じる保育」・「命や生きる力の大切さを感じる保育」・「人から守られるだけでなく、自立していく過程で困難なことや、悲しいことに立ち向かう勇気と気力が育つ保育」・「子どもたちの成長過程で、自立意欲を助長し、それを実践できる機会を大切に考えられる保育」の4項目を掲げています。すべての項目が利用者本人を尊重したものとなっています。また、職員間で保育内容を話し合い、週1回開催している職員会議(ケース会議含む)で検討し、指導案に理念・目標を組み込むように努めています。</li> <li>・ 保育課程は、年度末に全職員で話し合い、年間を通して一貫性のあるものを作成し、年2回見直しをしています。また、保護者の就労状況などは児童票に記録し、保育課程を作成する際に、保護者の実情を考慮しています。</li> <li>・ 保育課程に基づき、年間指導計画を年齢のみにとらわれず、子どもの月齢や発達状況に応じて作成しています。保育士は、子どものやりたい気持ちや自由な発想を、言葉以外にも表情や態度などからくみ取することを大切にしています。子どもたちが「何をして遊びたいか」に配慮し、適宜意見を聞きながら、やりたいゲームを取り入れるなど、保育内容を臨機応変に変更しています。</li> </ul>

## - 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- (1)入園前に子どもの発達状況や課題を把握しているか。
- (2)新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。
- (3)子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。

- ・ 入園前に、園長・担任と保護者と子どもとで面接を行っています。その際には、入園までの成育歴や家庭の状況について、一人ひとりの食事・アレルギー状況・面接時メモなどを「児童票」に記載し、指導計画に反映できるようにしています。
- ・ 入園時の子どもの負担を考慮し、保護者の協力が得られる範囲内での短縮保育(ならし保育)や子どもが心理的に拠り所とする物の持ち込みなど、柔軟に対応しています。また、子どもの様子は連絡ノートに丁寧に記録し、1日の保育活動内容を文面のほか写真で案内し、保護者とのコミュニケーションを大切にしています。
- ・ 指導計画を年齢別と特別支援児に分けて作成し、2週間に1度見直しを行っています。また、指導計画の作成に当たって、日々の会話・連絡ノート・個人面談により、保護者の要望や意見を反映することを心がけています。

## - 3 快適な施設環境の確保



- (1)子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。
- (2)沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。
- (3)子どもの発達に応じた環境が確保されているか。

- ・ 保育室内は、空気がこもらないように24時間換気を行い、各クラスには加湿空気清浄機を設置しています。また、施設内は天窓・吹き抜けがあり、十分な陽光が確保できる構造となっています。
- ・ シャワーとベビーバスの沐浴設備があります。温水シャワーは1階と2階に完備しています。
- ・ 0、1歳児クラスでは、少人数でいつでも好きな遊びが選んでできるようにコーナーをつくり、また仕切りを低くし子どもたち同士の顔が見えるようにするなど、室内の使い方を工夫しています。園内1階にはランチルームがあり、食べる・寝る・遊ぶなどの機能別空間を確保しています。

## - 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力



- (1)子ども一人ひとりの状況に応じて保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか。
- (2)子ども一人ひとりの発達の段階に応じた対応をし、その記録があるか。

- ・ 発達の状況変化が著しい時期である0~2歳児については、個別指導計画を作成し、子どもたち一人ひとりの発達状況に応じた保育を行っています。指導計画の変更・見直しは、2週間に1度のクラスミーティングで行い、さらに週1回の職員会議においても、議題として話し合い、職員の共通理解として、計画の変更・見直しを行っています。
- ・ 子どもたち一人ひとりの個人情報(児童票)に記録しています。児童票には、既往歴・成長記録・保育経過記録・保護者の要望等を記録しています。事務室に保管している児童票は、必要なときに全職員が閲覧できます。

## - 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- (1)特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。
- (2)障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。
- (3)アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか。
- (4)外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。

- ・法人全体として、特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れる姿勢がうかがえます。また、法人から適宜必要なノウハウや情報などが園に提供されます。園内ではその情報をもとに職員会議等で意見交換をし、保育経過や情報については、ノートに記録し、職員がいつでも確認できるようにしています。
- ・室内はバリアフリー構造で、玄関の段差は車いすの子どもに配慮し、トイレやエレベーターなどの設備も完備しています。また、障がい児保育についての専門的なアドバイスは、法人本部・園医・看護師や東部地域療育センターなどと連絡をとり、情報交換や報告を行いながら支援方法の検討ができる体制を整えています。療育センターからは、年2回、園に見学に来てもらい、継続的に相談にのってもらっています。
- ・アレルギー疾患のある子どもへの対応については、子どものかかりつけ医の診断書や指示書により、看護師・管理栄養士を中心に適切な対応を行っています。一覧表を作成し、全職員が子どものアレルギー内容を把握しています。また、食事提供の際には、管理栄養士と保育士がダブルチェックを行います。
- ・保護者が外国籍の子どもに対しては、文化や生活習慣の違いを認め尊重できるように、入園児に保護者の意向をアンケートで把握しています。保育士は、外国籍の保護者に対して希望があれば、おたよりにルビをふったり、なるべく分かりやすい言葉で説明しています。

## - 6 苦情解決体制



- (1)保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。
- (2)要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。

- ・苦情（相談事）受付担当者を副園長と主任保育士、解決責任者を園長とし、苦情解決体制・申し出方法を保護者にプリントで配布し、説明しています。また、各種アンケートを配布すること、園の玄関ポストや園内の意見箱（やぎさんポスト）を設置することで、保護者が意見や要望を気軽に表明できるための工夫をしています。
- ・園では、保護者からの要望や意見に対して、迅速・適切・誠心誠意な対応を心がけ、担当保育士から副主任や主任保育士・副園長・園長への報告を徹底しています。具体的事案については、職員会議で「原因」「対応内容」「改善内容」と段階を踏まえて話し合い、検討・共有しています。また、すべての事案について迅速に対応することを心がけ、必要であれば玄関に掲示して、保護者に伝えていきます。なお、過去に起きた事例は、ホームページに情報を公開し、対応方法など誰もが閲覧できるようにしています。

## 評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育内容[遊び]</p>  <p>(1)子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。</p> <p>(2)遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。</p> <p>(3)動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。</p> <p>(4)子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。</p> <p>(5)遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。</p> <p>(6)積極的な健康増進の工夫が遊びの中になされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乳児・幼児クラスとも、子どもの背丈に応じた棚におもちゃや絵本を分かりやすく収納し、子どもが自由に取り出して遊び、自分で片付けがしやすい環境を作っています。</li> <li>・ 子どもたちは、ままごと・絵本読み・ブロック・折り紙・粘土・すごろくなど、いろいろな種類の遊びを、時には友達と一緒に、時には一人で、自由に遊び、楽しんでいます。</li> <li>・ 一斉活動では、みんなで遊ぶ楽しさや、競い合う楽しさとともに、みんなが楽しむためのルールを教えています。また、遊びの一斉活動は全員参加とせず、子どもが自分のやりたいことを選んで参加しています。</li> <li>・ 散歩先では、落ち葉や土に触れ、鳥の声を追い、町なかの自然を十分に楽しんでいます。</li> <li>・ 子どもたちは散歩の途中、行き交う地域の人にあいさつをしたり手を振ったりし、地域の人からは優しい笑顔を返してもらい、和やかな交流をしています。</li> <li>・ 専門の講師による体操教室や英語教室・音楽教室を取り入れています。保育士は各講師と連携し、子どもたちの発達状況に沿った表現ができるように心がけています。</li> <li>・ 毎週火曜日は、3・4・5歳児クラス合同の異年齢児保育を行っています。子どもたちはこの交流を通して、小さい子や身体の弱い子へのいたわりや気遣い、大きい子へのあこがれなどを育てています。</li> <li>・ 保育士は穏やかな声と態度で子どもに接し、子どもたちは保育士にしっかり甘えて落ち着きのある表情が見られます。</li> <li>・ 夏場の紫外線対策として、1階の園庭と2階の園庭ともに紫外線遮断シートを張っています。また、屋外活動時には帽子を着用しています。</li> </ul>
<p>- 1 保育内容[生活]</p>  <p>(7)食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。</p> <p>(8)食事の場、食材、食器等に配慮しているか。</p> <p>(9)子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。</p> <p>(10)子どもの食生活について、家庭と連携しているか。</p> <p>(11)午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。</p> <p>(12)排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乳児の授乳については、連絡ノートなどで家庭との連携を持ちながら、担当保育士が抱いて行っています。授乳期の子ども的人数が多いときは、フリーの保育士や看護師が加わって、子どもが欲しがるときに、しっかり向き合った授乳時間が持てる配慮をしています。</li> <li>・ 食育の一環として、毎朝、その日の給食に使う食材をかごに入れ「食材プレート」といって全クラスに回しています。各担任保育士は一つひとつの食材や献立の説明をし、子どもたちは、その食材を見て、触って、匂いをかいで、食事への関心を深めています。</li> <li>・ 2歳児以上のクラスは、各保育室ではなく独立したランチルームで食事をしています。5・6人ずつのテーブルに自由に座り、友達とおしゃべりをしながら、食事を楽しんでいます。</li> <li>・ 各担任保育士が、子どもの好き嫌いや、食べる量を把握して盛り付けを行い、子どもが完食できたことを喜べるようにしています。毎月の給食カリキュラム会議においても子どもたち全体の喫食状況や配膳の様子などを話し合い、工夫を重ねています。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 玄関ホールของฟोटเฟรม画面に、毎日の給食を載せ、保護者がお迎え時に見られるようにしています。また、ランチルーム前のイーゼル（園内の掲示板）にも、ひと月のカレンダーに毎日の給食の写真を貼ったものや、持ち帰ることのできる人気料理のレシピメモなどを置いています。</li> <li>・ 乳幼児突然死症候群への対策として、15分ごとに睡眠チェックをし、記録に残しています。</li> <li>・ トイレトレーニングは、無理なく自然にトイレに行くことができるように子ども一人ひとりのペースに合わせて行っています。また、トイレは明るく保育室の延長にあるようなオープンな設計で、子どもが怖い場所と思わずにすむように配慮しています。</li> </ul>
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]</p>  <p>(1)子どもの健康管理は、適切に実施されているか。</p> <p>(2)健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。</p> <p>(3)感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運営法人が各園共通で設定した健康管理マニュアルがあり、それをさらに具体的かつきめ細かくしたものを園独自に作成しています。このマニュアルに沿って、日々、子どもの健康状態を把握しています。</li> <li>・ 内科健診を年2回、歯科健診を年1回行い、それぞれの記録をとっています。</li> <li>・ 感染症等の疑いのある場合の対応を、登園基準も含めてマニュアル化し「入園のしおり」に記載し、入園時に保護者に配布・説明をして、周知を図っています。</li> </ul>
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p>  <p>(4)衛生管理が適切に行われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衛生管理に関するマニュアルは写真などを取り入れた使いやすいものを作成し、これに基づいた清掃によって、園内は清潔な環境が保たれています。</li> </ul>
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p>  <p>(5)安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。</p> <p>(6)事故や怪我の発生時および事後の対応体制が確立しているか。</p> <p>(7)外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地震等に備えて、各保育室は天井までの壁面全体を、作りつけの戸棚にした設計になっています。室内にある棚は高さの低いものだけとし、さらに可動型の収納部にはストッパーをつけて、安全対策を講じています。</li> <li>・ 事故・災害・外部からの侵入などを想定した避難訓練を月1回実施し、記録に残しています。</li> <li>・ 事故報告書・ヒヤリハット報告書に、事故の内容・事故後の対応・事故後の子どもの様子・今後の改善策および方針などが記録されています。この報告書は職員会議で報告し、再発防止の対策を話し合っています。</li> <li>・ 不審者等の侵入防止策として、出入り口は施錠され出入り口のカメラで来園者の顔を確認してから鍵をあけています。保護者は一人ひとりのIDカードを持ち、登降園時の確認をしています。</li> </ul>
<p>- 3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士は、子どもを急かしたり、強制したりすることなく、ゆっくり穏やかに子どもに向き合った保育を行っています。</li> <li>・ 各保育室内に数ヶ所のコーナーを設け、子どもがそこで集中して遊んだり、一人で過ごす時間を持ったりすることができるようにして</li> </ul>

<p>(1)保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。</p> <p>(2)必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。</p> <p>(3)個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。</p> <p>(4)虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。</p> <p>(5)性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。</p>	<p>います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人情報の取り扱いについては、実習生を含めた全職員に対して、規定に基づいて説明をした上で、利用者情報保護誓約書を交わしています。</li> <li>・ 虐待の発見や防止に関するマニュアルを、各保育室内にも常備し、全職員に虐待の定義を周知しています。</li> <li>・ 子どもにも保護者にも、父親の役割・母親の役割といった性差を固定的にとらえた話し方をすることはありません。</li> </ul>
<p>- 4 保護者との交流・連携</p>  <p>(1)保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。</p> <p>(2)個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。</p> <p>(3)保護者の相談に応じているか。</p> <p>(4)保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。</p> <p>(5)保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。</p> <p>(6)保護者の自主的な活動の援助や意見交換を行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育の基本方針は入園時に配布する「入園のしおり」で説明するだけでなく、毎年度始めに、在園児の保護者にも「入園のしおり」を配布・説明をして園を理解してもらおう努力をしています。</li> <li>・ 日にちを決めて、年1回の個人面談を実施しています。この面談日にかかわらず、保護者からの希望があればいつでも個別面談を受け付けています。</li> <li>・ 個室の相談室があり、人に見られたり聞かれたりすることなく安心して相談をすることができます。</li> <li>・ 毎月、「園だより」「くらすだより」「給食だより」「ほけんだより」を発行し、保護者に配布しています。</li> <li>・ その日の保育の様子はクラスごとに「Today's memory」に記入され、保護者はお迎え時に見ることができます。</li> <li>・ 保育参加の日程は保護者にあらかじめ知らせ、出席しやすいように配慮しています。</li> <li>・ 各種の保護者参加行事や、保育参加を通して常に保護者とのコミュニケーションを心がけています。また園の行事などでは、その都度都合のつく保護者に手伝いしてもらっています。</li> </ul>

## 評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>  <p>(1)地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。            (2)地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園庭開放時に育児相談を受け付け、この交流を通して地域の育児支援ニーズを把握しています。</li> <li>・ 地域の民生委員・主任児童委員・自治会長・他保育園などのメンバーで構成される「とちのき子育て支援会議」に毎年参加しています。</li> <li>・ 園庭開放、一時保育を行っています。当初、独立した一時保育室での保育を行っていましたが、保護者からの希望を受け、現在は当該年齢クラスでの保育を行っています。</li> </ul>
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p>  <p>(1)地域住民への情報提供や育児相談に対応しているか。            (2)相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 矢向地区センターに園の案内を置き、またホームページでは育児支援の情報を提供するなどしています。</li> <li>・ 毎週月曜日に園庭開放を行い、同時に子育て相談を受け付けています。</li> <li>・ 自治会・鶴見区役所・横浜市東部地域療育センターなどと日常的な連携があり、相談内容に応じた対応ができます。</li> </ul>

## 評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>  <p>(1)保育園に対する理解促進のための取り組みを行っているか。 (2)子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児クラスの散歩時に公園のゴミ掃除をしたり、ハロウィンで子どもたちが近所を行進したりするなどの日常的な取り組みで、地域との友好な関係を築いています。</li> <li>・ 園の運動会は、矢向地区センターの体育館を利用して行っています。</li> <li>・ 園児が、野菜作りの種苗を近所の店に買いに行ったり、園児の散歩時に地域の人へのあいさつを行うなどの交流を日常的にしています。</li> </ul>
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p>  <p>(1)将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。 (2)利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月、園のホームページを更新し、園の様子や子育て支援情報を載せています。また、矢向地区センターや鶴見区役所にも掲示やパンフレットを置くなどの情報提供をしています。</li> <li>・ 利用希望者からの問い合わせには、副園長と主任が担当し、常時対応ができるようになっていました。園のパンフレットに沿って、園の基本方針やサービスの内容を説明しています。</li> </ul>
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p>  <p>(1)ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。 (2)実習生の受け入れを適切に行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティア受け入れのためのマニュアルがあり、これに基づいてボランティアに対して事前説明会をしています。</li> <li>・ 中学生や大学生のボランティア希望者を受け入れています。</li> <li>・ 実習生受け入れのためのマニュアルがあり、これに沿って実習生に対して事前に園の方針を説明しています。</li> <li>・ 実習終了後、学生と職員で反省会を開き、意見交換を行っています。さらに反省会の内容は職員会議で取り上げ、今後の保育に反映させています。</li> </ul>

評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p>  <p>(1)保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。                      (2)職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。                      (3)非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員採用時に、保育理念・方針に共感・理解してもらえるかを確認しています。保育理念や方針の実現のために、法人独自の人事評価制度を活用しながら、計画的な人材育成が行われています。人事評価制度では、保育士としての目標・法人職員としての目標・目標の設定理由など、職員一人ひとりと園長が面談(副主任以上は専務理事が面談)を行い、丁寧な人材育成計画を策定しています。</li> <li>副園長が研修担当であり、各職員の資質向上に向けた年間研修予定表を作成し、各職員の研修ニーズにも配慮しています。園内外での研修については、全職員が積極的かつ主体的に研修に参画できるよう、一人ひとりの能力・知識向上のキャリアプランを把握し、必要な知識の研修を推進できる仕組みがあります。</li> <li>設立間もない園であるため、立ち上げ当初は常勤職員のみでの保育を実施しています。園は、非常勤職員にも常勤職員と同様の資質が求められていることを理解していて、常勤・非常勤を問わず、基本理念や方針・行動規範などを実現していくためのマニュアルを完備しています。</li> </ul>
<p>- 2 職員の技術の向上</p>  <p>(1)職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>週1回の職員会議やクラスミーティング等で、保育内容や保育技術についての確認や反省を行っています。月1回開催の園長会議では、系列園の良い事例を共有し、一層のサービス向上のために、各園の取り組みを参考として自園の保育に取り入れています。</li> <li>必要に応じて本部や外部からの講師を招き、体操・英会話・音楽などの専門的な指導を受けるとともに、保育士が質疑応答できる時間を設け、日々の保育に役立てています。</li> </ul>
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p>  <p>(1)本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園長・副園長・主任・副主任・保育士・看護師・栄養士それぞれの役割を明文化しています。また、園長面談の際に、本年度の目標・前年度の反省(課題)点などを十分に話し合いながら、職員一人ひとりの経験・能力・習熟度に応じた役割や期待水準を明文化しています。</li> <li>週1回開催される職員会議で、保育内容や業務改善の提案が行われています。主任・副主任を中心に、日々保育室を見回り、現場で保育士の意見を聞くことや園全体の雰囲気把握するよう心がけています。</li> </ul>

## 評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p>  <p>(1)事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。            (2)サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人主催の新人研修・職員会議、就業規則等の各種規程やマニュアルにおいて、職員が守るべき法・規範・倫理等を説明しています。</li> <li>・ 紙の再利用などのゴミの減量化・リサイクル・省エネルギー・緑化の取り組みに関しては、環境への取り組みマニュアルを各クラスに備え、全職員が環境への取り組みを行っています。エアコン等の集中管理や節電取り組みのためのデマンド監視サービスなど、省エネルギーに向けた取り組みに加え、園庭には芝生を植えるなど、緑化の取り組みを推進しています。</li> </ul>
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p>  <p>(1)保育園の理念や基本方針等について職員に周知されているか。            (2)重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。            (3)主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育理念・保育方針は明文化し、玄関に掲示するとともに、書面化したものを職員に配布しています。また、保育理念や保育方針の実現のため、指導計画に記載し、全職員が理解しています。</li> <li>・ 常日ごろからの保護者とのコミュニケーションを大切にし、重要な意思決定はもちろんのこと、各種イベント活動についても、アンケートを実施しています。その他、意見箱（やぎさんポスト）の設置などを行い、積極的に保護者からの意見を聞くことに努めています。</li> <li>・ 法人主催による幹部職員・中堅職員研修を定期的開催しています。主任や副主任への昇格試験も定期的に行い、スーパーバイズのできる主任クラスの計画的な育成プログラムがあります。なお、主任は、全体の業務状況を主に把握し、副主任は個々の職員の業務状況を把握しています。</li> </ul>
<p>- 3 効率的な運営</p>  <p>(1)外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。            (2)保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人として、全国社会福祉施設協議会・新保育システム研究会や独自のネットワークなどににより、さまざまな保育・経営情報の収集に努めています。重要な情報は、園長会議で話し合い、検討しています。</li> <li>・ 法人として、短中期的な事業計画を策定しています。外部環境の変化をかんがみて、現状の保育サービスを見直すため、法人主催の園長・副園長・主任・副主任・看護師・栄養士会議を定期的開催しています。そこでは、系列園の状況を横断的に把握することができ、サービス内容の充実や組織活性化のための話し合い・検討を行っています。</li> </ul>

## 利用者（園児）家族アンケート 分析

### 【ゆめいろ保育園】

- 1、実施期間 2011年1月11日～1月24日
- 2、実施方法 保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。  
各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、回収率 63.0%（103枚配付、65枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス...11人、1歳児クラス...17人、2歳児クラス...16人、3歳児クラス...11人、  
4歳児クラス...7人、5歳児クラス...2人

同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

文中の「満足度」は、「満足」・「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値、  
「不満」は、「不満」・「どちらかといえば不満」の回答を合計した数値です。

### まとめ

- ・ 保育園の総合満足度は、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせると86%です。
- ・ 日常の保育内容「遊び」について、クラス活動や遊びについてお子さんが満足しているか、園のおもちゃや教材についてお子さんが自由に使える年齢にふさわしいか、の2つの項目で満足度が高く、それぞれ92%、94%です。“遊びの中でたくさんのことを学び、たった2年でこんなに社会性がつくのか”と驚きとともに園への感謝の声もあります。
- ・ 日常の保育内容「生活」の中でも、特に給食については非常に満足度が高く、給食の献立内容については98%、お子さんが給食を楽しんでいるかについては100%です。“おかわりをよくする”“給食はおいしく、楽しいようだ”との声があります。その他、基本的な生活習慣の自立に向けての取り組みについては94%、昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかどうかについては95%、お子さんの体調への気配りについては94%と、保育園での生活に対する満足度は、全体的に高い結果となっています。
- ・ その他、満足度の高い項目として、施設設備についての92%、あなたのお子さんが大切にされているかについての92%、あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについての93%、などが挙げられます。
- ・ 不満が比較的多い項目としては、子どもが戸外遊びを十分しているかについての27%、送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換についての23%、保護者からの相談事への対応についての22%、意見や要望への対応についての22%、が挙げられます。園の対応については、“もう少し話しかけやすい雰囲気にしていただくとありがたい”など、積極的な情報交換・意見交換を期待する声があります。

## 利用者（園児）家族アンケート集計結果

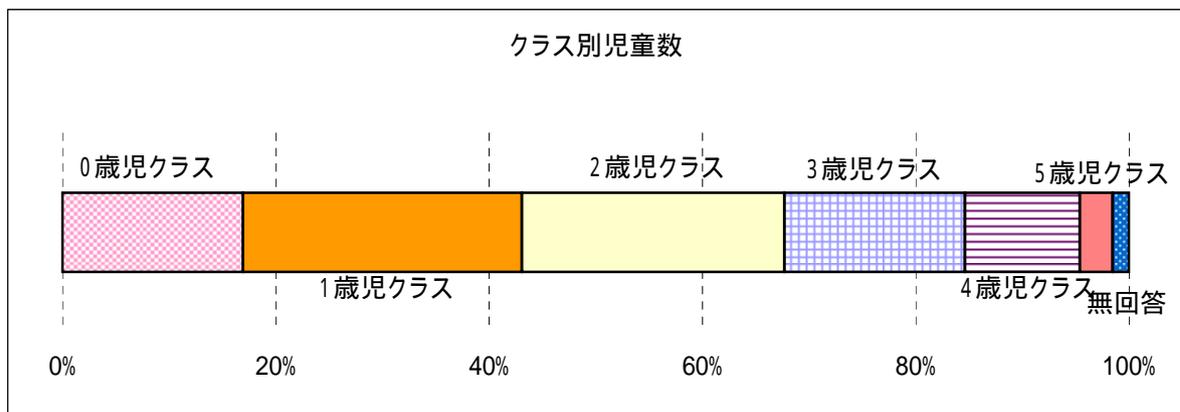
実施期間： 2011年 1月11日～1月24日

回収率： 63.1% （回収65枚 / 配布103枚）

### 【属性】

クラス別児童数								(人)
合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答	
65	11	17	16	11	7	2	1	

同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どものクラスで記入



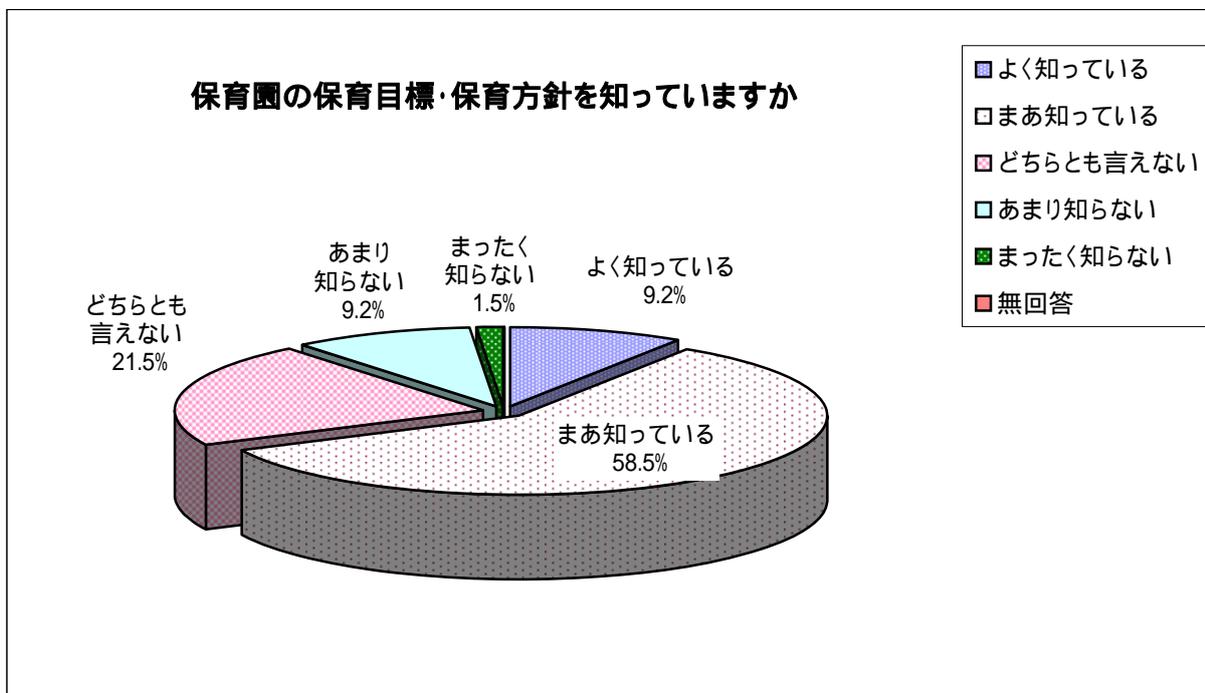
保育園の基本理念や基本方針について

問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	9.2	58.5	21.5	9.2	1.5	0.0	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

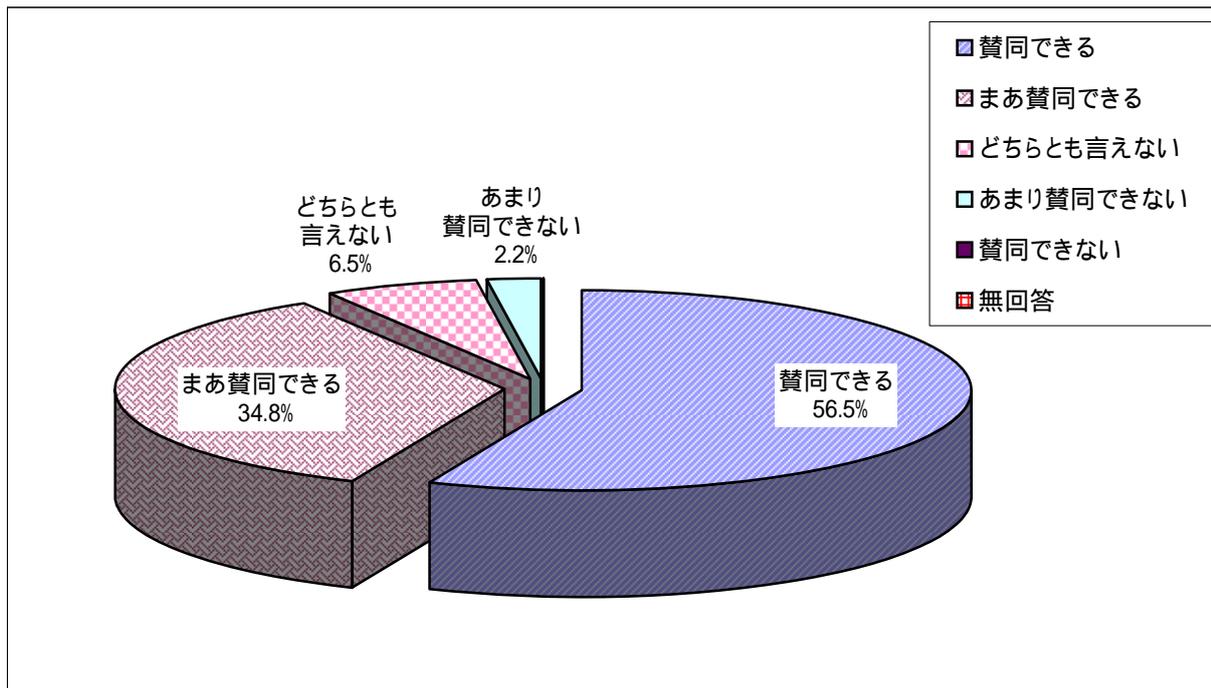


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	56.5	34.8	6.5	2.2	0.0	0.0	100



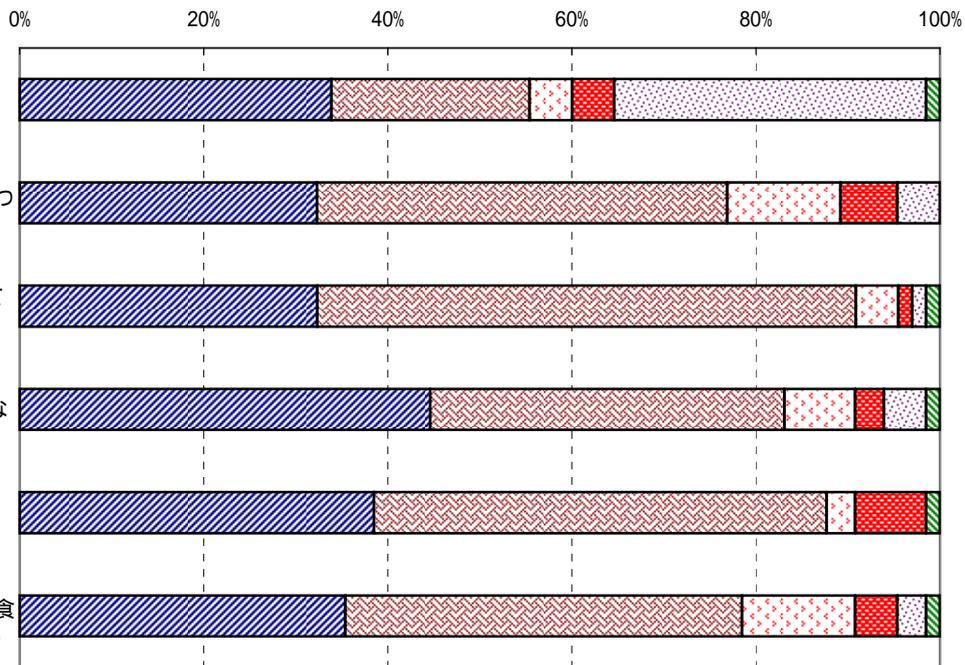
保育園のサービス内容について  
問2 入園時の状況について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	33.8	21.5	4.6	4.6	33.8	1.5	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	32.3	44.6	12.3	6.2	4.6	0.0	100
園の目標や方針についての説明には	32.3	58.5	4.6	1.5	1.5	1.5	100
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	44.6	38.5	7.7	3.1	4.6	1.5	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	38.5	49.2	3.1	7.7	0.0	1.5	100
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	35.4	43.1	12.3	4.6	3.1	1.5	100

入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



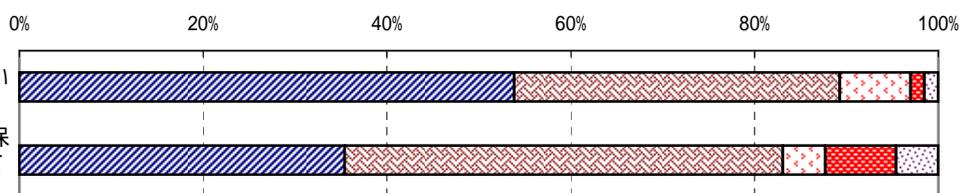
問3 年間の計画について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	53.8	35.4	7.7	1.5	1.5	0.0	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	35.4	47.7	4.6	7.7	4.6	0.0	100

年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



問4 日常の保育内容について

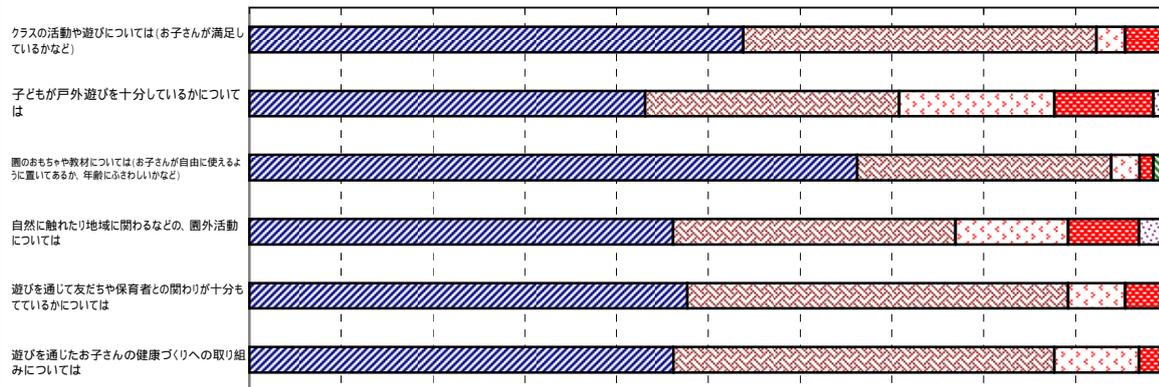
(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	53.8	38.5	3.1	4.6	0.0	0.0	100
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	43.1	27.7	16.9	10.8	1.5	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	66.2	27.7	3.1	1.5	0.0	1.5	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	46.2	30.8	12.3	7.7	3.1	0.0	100
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	47.7	41.5	6.2	4.6	0.0	0.0	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	46.2	41.5	9.2	3.1	0.0	0.0	100

日常の保育内容「遊び」について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



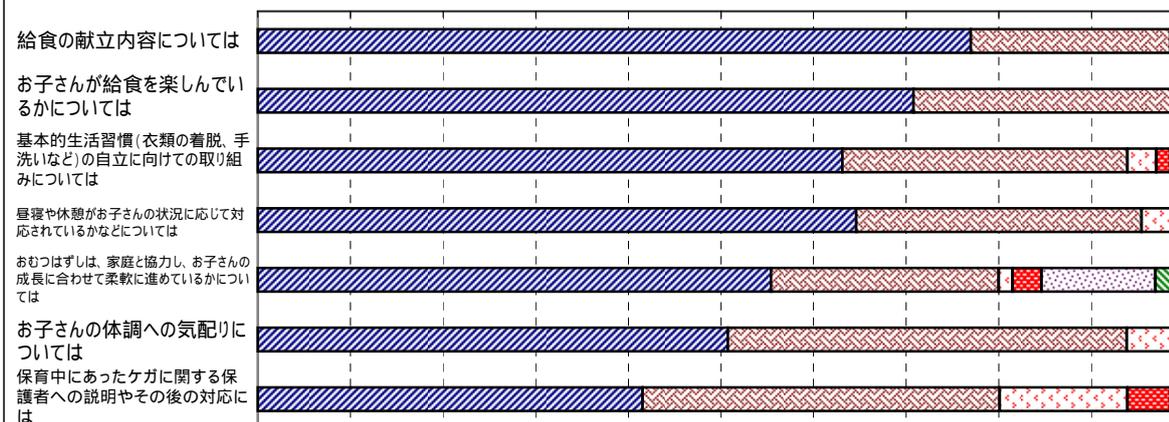
(%)

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	76.9	21.5	0.0	0.0	1.5	0.0	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	70.8	29.2	0.0	0.0	0.0	0.0	100
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	63.1	30.8	3.1	1.5	1.5	0.0	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	64.6	30.8	4.6	0.0	0.0	0.0	100
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	55.4	24.6	1.5	3.1	12.3	3.1	100
お子さんの体調への気配りについては	50.8	43.1	6.2	0.0	0.0	0.0	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	41.5	38.5	13.8	4.6	1.5	0.0	100

日常の保育内容「生活」について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



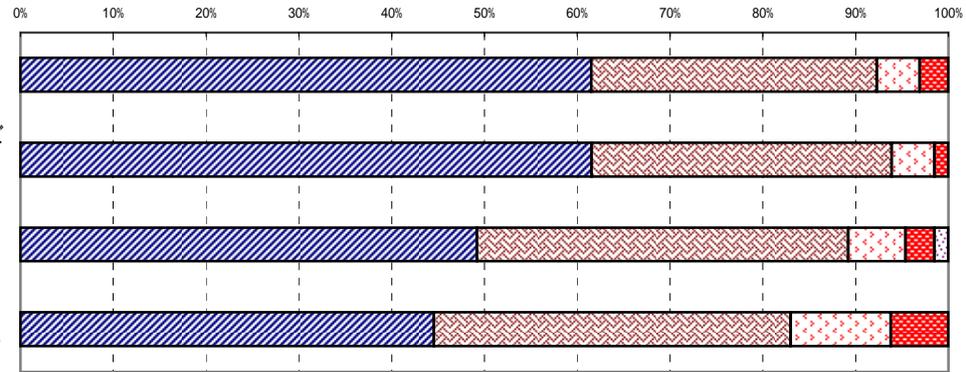
問5 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	61.5	30.8	4.6	3.1	0.0	0.0	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	61.5	32.3	4.6	1.5	0.0	0.0	100
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	49.2	40.0	6.2	3.1	1.5	0.0	100
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	44.6	38.5	10.8	6.2	0.0	0.0	100

快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



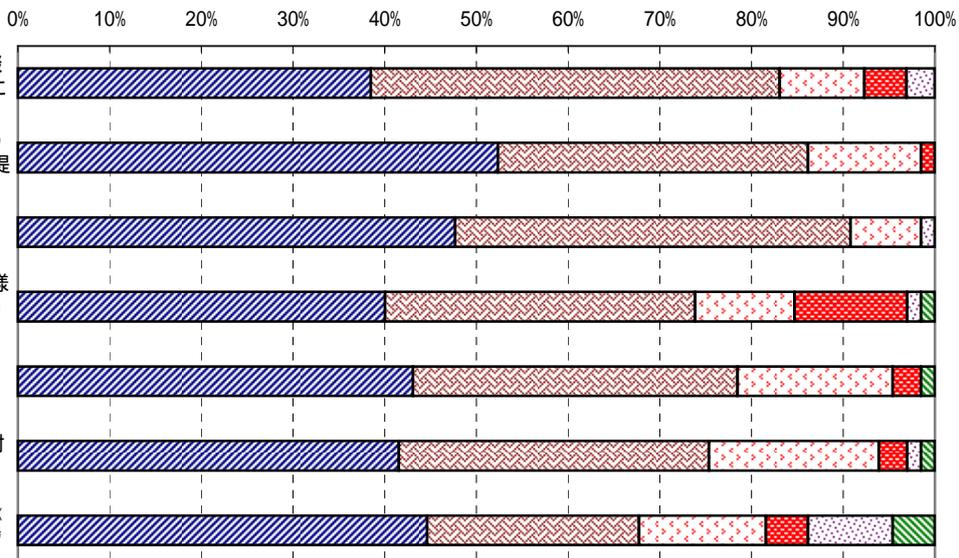
問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	38.5	44.6	9.2	4.6	3.1	0.0	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	52.3	33.8	12.3	1.5	0.0	0.0	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	47.7	43.1	7.7	0.0	1.5	0.0	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	40.0	33.8	10.8	12.3	1.5	1.5	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	43.1	35.4	16.9	3.1	0.0	1.5	100
保護者からの相談事への対応には	41.5	33.8	18.5	3.1	1.5	1.5	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	44.6	23.1	13.8	4.6	9.2	4.6	100

園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



問7 職員の対応について

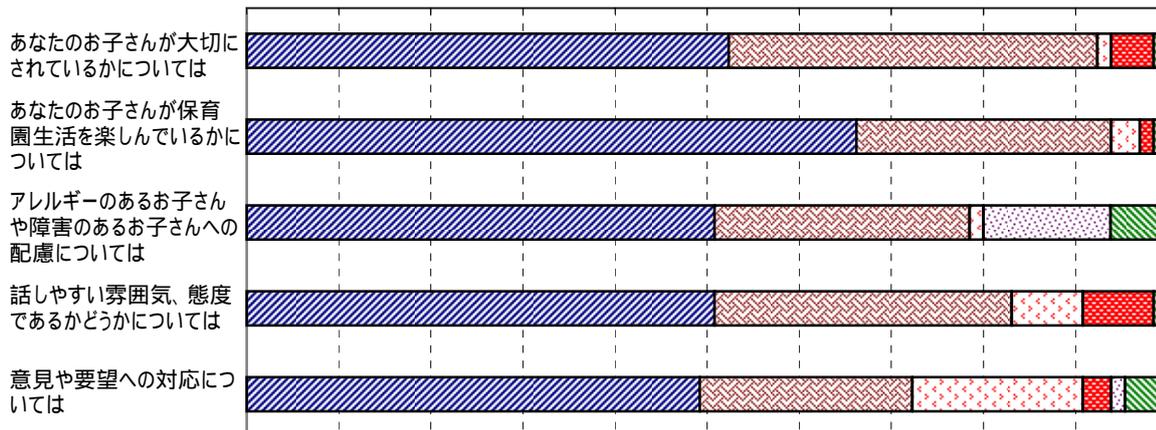
(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	52.3	40.0	1.5	4.6	0.0	1.5	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては	66.2	27.7	3.1	1.5	0.0	1.5	100
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	50.8	27.7	1.5	0.0	13.8	6.2	100
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	50.8	32.3	7.7	7.7	0.0	1.5	100
意見や要望への対応については	49.2	23.1	18.5	3.1	1.5	4.6	100

職員の対応について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

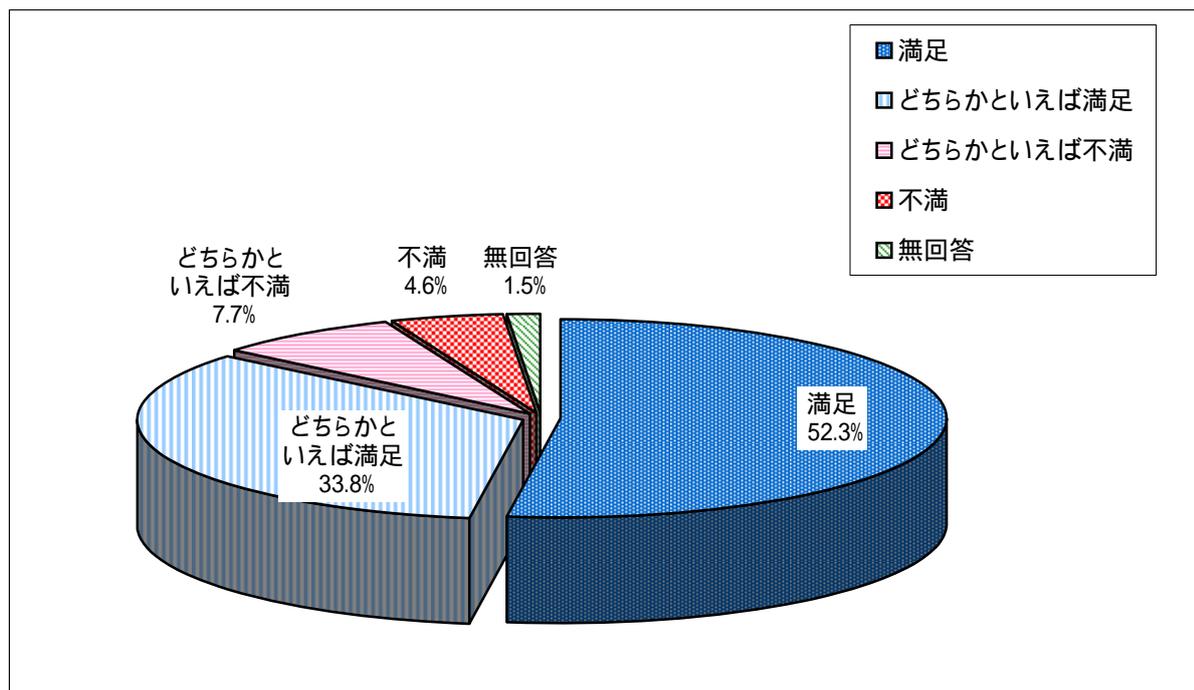
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	52.3	33.8	7.7	4.6	1.5	100



## 利用者（園児）本人調査 分析

【ゆめいる保育園】

観察調査 2月22日（火）9:00～12:50 2月24日（木）9:00～12:50

観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

### 0歳児クラス

広い窓から明るい陽射しがたっぷり入る保育室で、子どもたちがそれぞれに保育士に遊んでもらっています。保育士に抱かれている子ども、風船を自分で投げて受け止めて上手に遊ぶ子ども、童話の世界のような不思議な形の布のテントの中に入って遊ぶ子ども、遊び道具の取り合いは時々起りますが、長泣きをする子どもは見当たりません。優しい保育士の声に包まれて、安心した表情の子どもたちです。

眠くなった子どもは、担当の保育士に添い寝をしてもらっています。大きな窓を園庭側からふいている保育士の姿に、次々子どもたちが室内からガラス越しに近寄ります。みんな保育士の先生が大好きです。

月齢の高い子どもは、ズボンやおむつを自分で脱ごうとしたり、はこうとしたりしています。なかなか難しいのですが、木の柵につかまったり保育士に手伝ってもらったりしながら、一生懸命挑戦しています。ズボンから自分の足が出てきて大喜びです。できたことを、保育士にたくさんほめてもらっています。

### 1歳児クラス

今日はクラスの半分が、散歩に出かけます。出かける前にみんなトイレを済ませますが、子どもたちは自分でズボンやおむつを脱いでトイレに行っています。保育室の続きのような明るいトイレでは、保育士がそばについて、見守ったり励ましたりしています。

持ち手の付いた誘導ロープにつかまって、散歩に出かけます。子どもたちには、歩きながら目についたもの、ゴミ収集車・トラック・カラスなどが、次々興味の対象になります。通り道にある住宅の前に置かれている小さな人形は、子どもたちの顔なじみで、行きも帰りもこの場所に来るとみんなから「アンパンマン」の聲がかかります。行き交う町の人々ともあいさつをし合い、笑顔の交流が見られます。

公園に着くと保育士が子どもたちに、「他の保育園のお友達もたくさんいるから、仲良く遊びましょう」「ころんだりぶついたりしたら先生に教えてね」などの約束を話します。

子どもたちはみんな、公園中に散らばって走り回ります。保育士が持参したボールを追いかけて遊んだり、レジ袋のたこ揚げをしたり、地面に近い位置に枝分かれのある木に、順番に木登りをしたり、風に舞う落ち葉を追いかけたりなどしています。後から合流した2歳児クラスの遊び道具の「缶ポックリ」にも何度も挑戦しました。

### 2歳児クラス

朝の自由時間、子どもたちは保育室内の数ヶ所のコーナーで、ブロック遊び、パズル遊び、人形をおぶってごっこ遊び、などをして遊んでいます。追いかけてっこをする子どもたちもいます。

昼食の前にトイレと手洗いを順に済ませると、準備のできた子どもから廊下に並び、みんなでランチルームに移動します。ランチルームでは、4、5人ずつのテーブルに分かれて自由に座ります。各テーブルで保育士が子どもに希望を聞きながら盛り付けと配膳をしていきます。子どもたちは自分の欲しい量を自分で保育士に伝えています。子どもたちは、準備が整うとテーブルごとに自主的に手を合わせて「いただきます」と言って食べ始めました。保育士は子どもに無理強いはしませんが、食の細かい子どもや、好き嫌いの多い子どもには、「少し食べてみる？ おいしいよ」と、声かけをしながら食事の様子に気を配ります。子どもは保育士に勧められたり、手助けをしてもらったりしながら、きれいに食べ終えています。おかわりをする子どももたくさんいます。

### 3歳児クラス

朝のあいさつの歌をクラス全員で歌い、保育士から、室内の模様替えと遊び道具の入れ替えをしたことの説明があります。新しいおもちゃを使うときのルールも聞きました。

今日の製作は、お内裏様とお雛様を折り紙で作ります。ハサミを使う製作のため、4人ずつの順番です。

製作以外の子どもたちは、それぞれ自分のしたいことを見つけて自由に遊んでいます。粘土・ブロック・カルタ・パズル・絵本などを、グループで、あるいは一人で、思い思いに遊び、遊びが終わると各自きちんと片付けをしています。保育士は遊びの中に入ったり、遊びに誘ったりなどをして、子どもたちがしっかり遊びを楽しめるように援助をしています。けんかや言い争いには、危険なことやルールをきちんと教え、両方の子どもが納得するまでゆっくり向き合って話し合います。

食材プレート(当日の給食食材をかごに入れ全クラスに回します)がクラスに来ると、保育士が食材一つずつを見せて子どもたちに質問します。「これ、なーに?」「にんじーん」「これ、なーに?」「たまねぎ」などと続きます。次に、食材を子どもたちに回して食材の一つずつを子どもたちが手にとります。毎日、こうして実際に手で触り、香りを確かめて食事やその過程への興味をつなげています。

### 4歳児クラス

この日は、子どもたちの希望を聞いて、室内で遊ぶグループと、園庭で遊ぶグループに分かれました。室内では細長い板状の積み木遊び、園庭では、長縄跳びとドロケイ(鬼ごっこ)で遊びます。

園庭では、子どもたちが帽子の色分けで2チームになり、泥棒組と警察組の鬼ごっこが始まりました。子どもたちは一斉に園庭を走り回ります。走りながら転ぶ子も何人かいますが、保育士が落ち着いて声をかけることで、すぐまた遊びに戻っていきます。自分で起き上がって泣かずに遊び続ける子もいます。泥んこになって、思いきり身体を動かしています。

室内では、子どもたちが二人ずつの組になり、二人で協力して積み木を高く積み上げる競争をしています。あちこちから保育士に声がかかります。「先生、見て見てー」「すごい高いよー」、次第に高さが増して子どもの背丈ほどまで高くなると、子どもたちは「こわーい」と、ドキドキしながらも夢中です。子どもの中には、一人で作りたい子どももいますが、保育士は根気よく、二人で一つのものを作るゲームのルールを話して聞かせ、子どもは納得します。遊びの最後には、保育士から「今日のゲームはどうでしたか?」と聞かれ、子どもたち全員がそれぞれに「楽しかった」「難しかった」などと、感想を話しています。

### 5歳児クラス

子どもたちは登園すると、自分で着替えをして整理をしています。朝の自由時間は、あやとり・お絵かき・粘土などで各自遊んでいます。朝礼の前に遊び道具を片付け、手洗い・うがいをしてピアノの前に並んで座ります。保育士からの「もういーかい?」の声に「もういーよ」と子どもたちが応えて朝礼が始まります。卒業式で歌う歌を練習したり、朝の歌を歌ったり、当番さんと日付を確認したり、出欠を取ったりして過ごします。

今日の製作は、折り紙でお雛様を作ります。保育士の折る見本を見て、説明を聞き、三つのグループに分かれて製作開始です。子どもたちは歌を歌いながら楽しそうに取り組んでいます。

午後の自由時間、いくつかのグループになって思い思いの時間を過ごしています。保育士と一緒に4月からの小学校で使うランチョンマットに名前の刺繍をするグループ、あやとりで遊ぶグループ、パズルをするグループなどです。キーボードを二人で弾く仲良しもいました。

### まとめ

どのクラスも、その年齢に合った方法で、子どもの意思を尊重したプログラムです。子どもたちは、用意されたさまざまな遊び道具で自由に遊びこみ、落ち着いた表情がみてとれます。

## 事業者コメント

ゆめいる保育園も開園 2 年目を迎え、今回の第三者評価の受審をし、今までの保育の振り返りを行いました。

今回の評価項目を検証し、スタッフが一つになって子どもたちと向合うことの大切さを再確認し、これを機会に職員同士の協調性への認識を深めることができたと思います。

特に、スムーズに保育を行えるようにマニュアルの作成をし、また保育の水準を高めるために必要な項目を再検証・再構築することができました。

今後も、「夢工房が達成しようとしている保育理念とは何なのか？」をスタッフが共通理解を図り、その目指す使命や目標の達成へ向かって、利用者・地域・組織運営の状況を踏まえながら、最善の意思決定と行動を行っていききたいと考えています。

長時間にわたり、評価に取り組んでいただきました、評価機関のみなさまに感謝申し上げます。

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.jp/kenkou/jigyousyajoho/hyoukaall.cgi>

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.k-daisansyahyouka.org/>



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま 評価・改善事業ユニット

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 26 番地 洋服会館 2 階

TEL:045-222-6501

FAX:045-222-6502

<http://www.shimin-sector.jp>

---